

# 地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年8月20日)

- 1 令和元年度「土木ツアー」及び「どぼくカフェ」の開催結果について  
【県土総務課】……1ページ
- 2 平成30年度県土整備部優良業務表彰等について 【県土総務課】……3ページ
- 3 平成30年発生災害に係る災害復旧工事の進捗状況について(県土整備部関連)  
【技術企画課】……4ページ
- 4 高速道路に係る整備促進・4車線化の要望について 【道路企画課】……5ページ
- 5 とっとり横断サイクリングルート(仮称)の全線ルート決定について  
【道路企画課】……6ページ
- 6 米子駅南北自由通路等整備事業の概要について 【道路建設課】……別冊
- 7 第10回中海会議の開催結果について 【河川課】……7ページ
- 8 土砂災害危険度情報の高解像度化について 【治山砂防課】……9ページ
- 9 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について  
【技術企画課・道路企画課・道路建設課・河川課】……11ページ

県 土 整 備 部



# 令和元年度「土木ツアー」及び「どぼくカフェ」の開催結果について

令和元年8月20日

県土総務課

建設産業の魅力を発信する取組の一環として、普段立ち入ることの出来ない工事現場で土木施設に直接触れて、技術をわかりやすく解説する「土木ツアー」と、くつろいだ雰囲気の中で土木に関する身近な話題にふれていただく「どぼくカフェ」を開催しました。この取組は、平成26年度から毎年開催しており今回で6回目となります。

将来の建設業の担い手となりうる小・中学生やその保護者等に対し、建設産業の魅力や素晴らしさを知っていただく取組を今後とも継続していきます。

## 1 土木ツアー

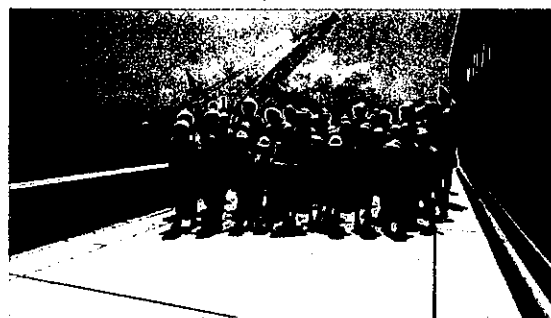
○日 時：7月27日（土） 午前9時45分～午後0時25分

○見学場所：境港外港竹内南地区貨客船ターミナル整備工事（ターミナル、地盤改良、護岸改良、ケーソン上部工など）

○参加人数：39名（内訳：小学生19名、保護者20名）



(ターミナル内)



(ターミナル屋上)

○参加者のコメント

・「土木」の意味を知らなくて何か悪いイメージだったけど、自然にも自分にも優しい方法で便利にしていることが分かった。(小学4年)

・土木の事がよく分からなかったけど、土木ツアーに行って土木の事が詳しく学べて良かった。(小学5年)

## 2 どぼくカフェ

○日 時：7月27日（土） 午後2時～3時

○場 所：イオンモール日吉津

○参加人数：約110名

○講 師：高橋 良和 氏（京都大学教授）

「ただいま工事中」と題して、身の回りでよく見かけるが普段立ち入ることができない工事現場の内側を紹介

○併設展示：道路標識を触ってみよう！、中国地方の選奨土木遺産写真展、第11回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール優秀作品

○同時開催：「けんせつ絵本のおはなし会」午後1時30分～2時

「とっとり建設☆<sup>じょせい</sup>女星ネットワーク」による、幼児から大人まで楽しめる絵本の読み聞かせ  
※「とっとり建設☆女星ネットワーク」

鳥取県の建設産業で働く女性を中心となり、平成31年4月に設立。柔軟な発想と感覚で、建設産業の魅力を発信し、次代を担う人材の地域定着を図るとともに、建設産業の活性化や地域社会の発展に貢献する活動に取り組んでいる。



(高橋氏によるどぼくカフェ)



(とっとり建設☆女星ネットワークによる読み聞かせ)

○参加者のコメント

- ・土木を知らなかったの、とても興味を持ちました。(10代女性)
- ・工事中の看板(=土木)に対する何かの壁(敷居)が低くなりました。(40代女性)
- ・普段、何も気にせず見ている道路工事にいろいろな知恵が込められていることを知りました。(40代女性)

3 参考(過去の開催状況)

年度	土木ツアー	どぼくカフェ
H26	安長土手、美敷水源地(鳥取市)	場 所:バードハット(鳥取市) テーマ:はじめてのダムマニア
H27	菊港(琴浦町)、東郷ダム(湯梨浜町)	場 所:倉吉未来中心(倉吉市) テーマ:「欧州土木デザイン紀行 in 鳥取」 ～インフラの眺めから地域をとらえよう～
H28	旧日野橋(米子市)、賀祥ダム(南部町)	場 所:イオンモール日吉津(日吉津村) テーマ:マンホール蓋は路上の芸術
H29	鳥取西道路気高第2トンネル(鳥取市)	場 所:イオンモール鳥取北(鳥取市) テーマ:「宇宙戦艦ヤマト2199」の工事を 実在の建設会社が受注したら!
H30	鳥取西道路内海中常松トンネル(鳥取市)	場 所:イオンモール鳥取北(鳥取市) テーマ:趣味は道路めぐり

# 平成30年度県土整備部優良業務表彰等について

令和元年8月20日  
県土総務課

県土整備部では、平成26年度から、測量等業務の成果品のより一層の品質向上及び技術者のモチベーション向上を図るため、成果品の品質が特に優れ、他の模範となる優良業務を履行した受注者の表彰を実施しています。

このたび、平成30年度の優良業務及び若手優良技術者を決定しましたので報告します。

なお、若手優良技術者と県外コンサルタント部門の表彰は、今年度からの新たな取組です。

## 1 優良業務

対象業務：発注時点の設計金額が500万円以上のもの（平成30年度：304件）

表彰基準：難易度が高い、設計条件が困難、新技術・新工法・独自提案等を積極的に行った、地元住民との調整又は事業進捗の促進に貢献した、特に他の模範となる優れた取組を行った など

### ① 土木関係建設コンサルタント部門（9件）

発注機関	業務名	受注者名
本庁	流木対策検討事業（土砂災害警戒区域（土石流）及び農業用ため池）業務委託（その1）	アイコンヤマト株式会社
鳥取	塩見川広域河川改修工事「地質調査及び塩見橋等予備設計業務委託」	アサヒコンサルタント株式会社
	長寿命化計画策定業務委託（健全度評価）（砂防）（その8）（経済対策）	株式会社ウエスコ
	県道網代港岩美停車場線（田後工区）改良工事「橋梁詳細設計業務委託」（交付金改良）	西谷技術コンサルタント株式会社
八頭	長寿命化計画策定業務委託（健全度評価）（砂防）（その11）（経済対策）	シンワ技研コンサルタント株式会社
	長寿命化計画策定業務委託（健全度評価）（砂防）（その12）（経済対策）	株式会社荒谷建設コンサルタント
中部	野田谷川小規模砂防工事「測量設計及び地質調査業務委託」	株式会社ヒノコンサルタント
米子	国道431号（富士見橋）外橋梁補修工事「調査設計業務委託」（防災安全交付金）	株式会社エイト日本技術開発
	街路両三柳中央線改良工事「測量設計業務委託」（防災安全交付金）	株式会社エース・プラン

### ② 測量・地質・補償関係コンサルタント部門（4件）

発注機関	業務名	受注者名
中部	黒川谷川砂防堰堤工事「用地調査業務委託」	株式会社ジーアイシー
米子	福井地区急傾斜地崩壊対策工事「土地調査業務委託」（交付金）	株式会社アスコ
日野	東山川防砂堰堤工事「用地測量調査業務委託」	西谷技術コンサルタント株式会社
	日の詰川砂防堰堤工事「土地調査業務委託」（2工区）（防災安全交付金）	シンワ技研コンサルタント株式会社

### ③ 県外コンサルタント部門（1件）

発注機関	業務名	受注者名
鳥取港湾	網代漁港漁港施設機能強化事業のうち測量・設計業務委託	株式会社エイト日本技術開発

## 2 若手優良技術者

対象業務：優良業務として表彰される業務に準じた成績を収めたもののうち、表彰年度の4月1日時点において、40歳未満の技術者が管理技術者等として従事したもの

発注機関	業務名	受注者名
鳥取	気高海岸サンドリサイクル推進事業「深淺測量業務委託」	シンワ技研コンサルタント株式会社
	湯山海岸侵食対策事業「深淺測量業務委託」	アサヒコンサルタント株式会社
日野	東山川防砂堰堤工事「用地測量調査業務委託」	西谷技術コンサルタント株式会社

## 3 表彰式の日程等（予定）

- (1) 日時 令和元年9月3日（火）午前11時～正午
- (2) 場所 県庁第34会議室（第二庁舎4階）
- (3) 出席者 県土整備部長、受賞コンサルタント（代表者、担当者）、若手優良技術者 ほか

## 平成30年発生災害に係る災害復旧工事の進捗状況について（県土整備部関連）

令和元年8月20日  
技術企画課

平成最大の公共土木施設被害となった平成30年発生災害（主に7月豪雨、台風24号）について、工事の進捗状況を報告します。

### 1 平成30年災害の被災状況

平成30年災害による被害は、市町村分も含め685箇所、約127億円。県内において、平成最大の公共土木施設被害額となった。

	7月豪雨		台風24号		計	
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)
県	315	8,039,216	175	2,908,301	490	10,947,517
市町村	67	620,316	128	1,160,205	195	1,780,521
計	382	8,659,532	303	4,068,506	685	12,728,038

※箇所数、金額は災害査定額。（農林水産省林野庁所管の災害復旧事業を含む）

<参考>被害額100億円前後の過去の災害状況 ※国交省所管分（比較のため都市局・港湾局を除く）

年災	異常気象名	箇所数	査定決定額(百万円)
昭和62年	台風19号	2,125	24,802
平成2年	台風19号	1,582	11,523
〃12年	鳥取県西部地震	672	9,954
〃16年	台風21号・23号	749	10,786
〃23年	台風12号・15号	535	8,113
〃30年	7月豪雨・台風24号	678	12,572

### 2 災害復旧工事の進捗状況（令和元年7月末時点）

（単位：箇所数（％は全体箇所数に対する割合））

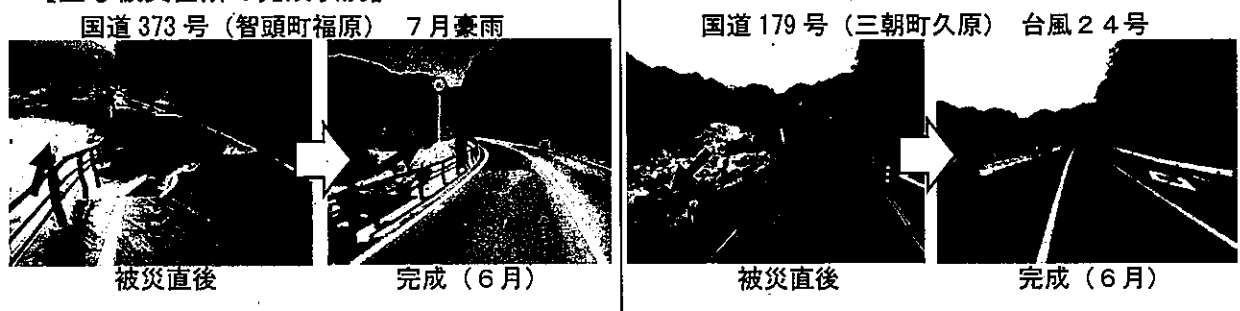
全体箇所数(県工事)	完了	工事中	未契約
490	231(47%)	154(32%)	105(21%)

<参考>：平成29年災の7月末時点の進捗状況

全体箇所数(県工事)	完了	工事中	未契約
134	31(23%)	96(72%)	7(5%)

- 79%の箇所で工事着手し、47%の箇所が工事完了したが、21%の箇所は未契約となっている。
- 未契約の理由は、資材（主に河川護岸用のブロック）や技能者等の人材不足に伴う入札不調によるものである。

#### 【主な被災箇所の完成状況】



### 3 今後の予定

今後再発注する箇所は主に河川内工事であり、出水期明けすぐに着手できるよう発注準備を進め、令和2年の出水期までに全箇所の完成を目指す。

（※出水期6月10日～10月20日）

# 高速道路に係る整備促進・4車線化の要望について

令和元年8月20日  
道路企画課

地方創生を支え、地域経済の再生と人口減少の克服へ向けて前進するためには、高速道路ネットワークの整備促進が必要不可欠であり、以下のとおり要望活動を行いました。

## 1 米子自動車道の4車線化について

(1) 日時：7月22日(月)

(2) 相手方：NEXCO西日本 酒井代表取締役、村尾取締役常務執行役員

(3) 要望内容

○「高速道路における安全・安心計画」において、蒜山IC～米子IC間の残る3区間を優先整備区間に選定し、全線4車線化となるよう、早期整備を図ること。

・蒜山IC～江府IC間 [県境部(三平山トンネル)]

・江府IC～溝口IC間 ・溝口IC～米子IC間

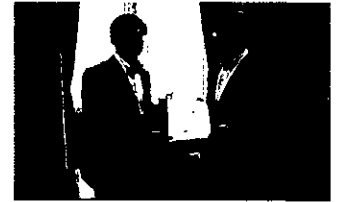
○事業中の江府IC付近(3.4km)、溝口IC付近(4.2km)の付加車線の早期供用を図ること。

(4) 要望結果

(酒井社長)4車線化は高速道路の機能として必要であり、管理する側としても整備が必要であると国に意見したところであり、引き続き国への働きかけをお願いしたい。

(5) 今後の予定

今後も引き続き地元期成会等と連携し、米子自動車道の全線4車線化を国に対して要望していく。



酒井社長へ要望書を手交

## 2 米子境港間の高規格道路について

(1) 日時：8月7日(水)

(2) 相手方：国土交通省 阿達大臣政務官、池田道路局長

(3) 要望者：舞立参議院議員、平井知事、伊木市長、中村市長

(4) 要望内容

○事業が凍結されている中国横断自動車道岡山米子線(米子IC～米子北IC間)の凍結を解除すること。

○中国横断自動車道岡山米子線(米子市～境港市)について、早期事業化を図るため、計画段階評価を実施すること。

(5) 要望結果

(阿達政務官)ルートを含め、地元の声を早くまとめてもらい、検討会の中で方向性を出して欲しい。

(池田道路局長)凍結当時から状況は変わっており、できるだけ早く進められるよう動いてみたい。

(6) 今後の予定

今後、県と地元が一体になって、米子境港間の高規格幹線道路の事業化を国に対し強く要望していく。



阿達政務官へ要望書を手交

## 3 高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現する10県知事会議について

(1) 日時：8月7日(水)

(2) 相手方：国土交通省 阿達大臣政務官、財務省 太田主計局長

(3) 要望者：高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現する10県知事会議  
(山形・福井・和歌山・鳥取・島根・山口・徳島・愛媛・高知・宮崎)

(4) 要望内容

○大規模災害に備え国土強靱化を進めるためには、ミッシングリンクの早期解消を図り、国の防災基盤として高速道路ネットワークの早期形成を図ること。

○地方創生に向けた地域経済の再生を実現するため、未事業化区間の計画段階評価などの速やかな実施と早期事業化を図ること。

○令和2年度道路関係予算は整備に必要な予算を確保するとともに、防災・減災対策や老朽化対策を含め長期安定的に道路整備・管理が進められるよう新たな財源を創設すること。

○高速道路会社が管理する暫定2車線の有料区間については、高速道路が本来有すべき安全性・定時性を確保するため「高速道路における安全・安心計画」において、4車線化の優先整備箇所として位置付けること。

(5) 要望結果

(阿達政務官)高速道路ネットワークには様々な効果がある。限られた財源の中で、重点化・効率化を図って少しでも早くミッシングリンクを解消するようしっかりと取り組んでいきたい。

(太田主計局長)防災・減災・国土強靱化のため3年間の臨時特別措置として事業規模7兆円を確保したが、それ以降は財政事情を考慮するとどこに重点を置くかという話になる。みなさまのお力添えをいただきながら進めたい。

(6) 今後の予定

今後も引き続き関係県が連携し、高速道路のミッシングリンクの解消・財源確保を国に対して要望していく。



阿達政務官へ要望書を手交

# とっとり横断サイクリングルート（仮称）の全線ルート決定について

令和元年8月20日  
 交流人口拡大本部観光交流局観光戦略課  
 西部総合事務所地域振興局西部観光商工課  
 県土整備部道路企画課

山陰道の開通により車の通行量が減少する国道9号線沿線の地域活性化等を図るため、県内を東西に横断するサイクリングルートとして平成28年度よりコース選定を進めてきた「とっとり横断サイクリングルート（仮称）」全線のルートが、このたび、令和元年7月26日の「とっとり横断サイクリングルート等整備検討会」で決定されました。

とっとり横断サイクリングルート（仮称）を通じて、サイクリストの県東西方向の移動を促し、中国地方最高峰大山を中心に県西部地域で発展してきたサイクルツーリズムを県中部、東部に浸透させることで、全県的な盛り上がりを図ります。

また、このサイクリングルートは、鳥根県のサイクリングルートと接続し、中国地方知事会でルート設定を目指している中国地方5県の県境をまたぐ広域サイクリングルートの一部としても活用する予定です。

## 【とっとり横断サイクリングルート等整備検討会出席団体】

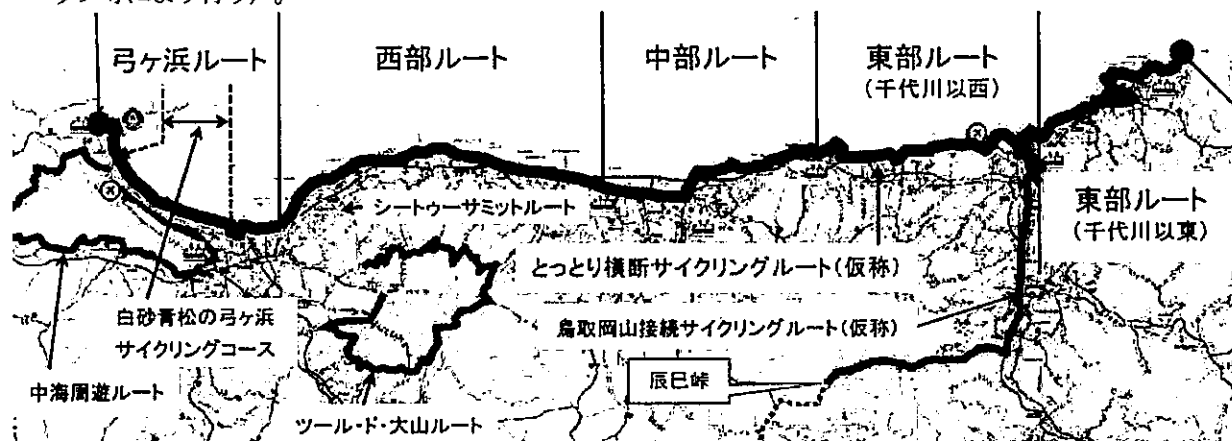
鳥取県サイクリング協会、とっとりサイクルツーリズムの会、鳥取県経済同友会、鳥取商工会議所、（一社）麒麟のまち観光局、国土交通省、鳥取県警察本部、鳥取・浜村・智頭警察署、鳥取市 等

## 1 目的

- 山陰道の開通により車の通行量が減少する国道9号線沿線の地域活性化
- 県西部地域におけるサイクリング環境整備の取組の全県展開
- 中国地方知事会で計画されている広域サイクリングルート「日本海沿岸ルート」の県内区間整備

## 2 コンセプト

- 土地勘のない県外・海外のサイクリストでも、県東西方向に“迷わず”に移動できるメインルート  
 ⇒安全確保を優先して迂回せざるを得ない部分を除いて、国道9号線を活用することで、サイクリストにとってわかりやすく、短い時間で移動できる直線的なルートとする（観光地や周遊ルート・サブルート等への誘導は、マップ等により行う）。



## 3 これまでの経過

	弓ヶ浜ルート	西部ルート	中部ルート	東部ルート (千代川以西)	東部ルート (千代川以东)
距離	約27km	約35km	約26km	約25km	約25km
ルート決定	完了 (H29)	完了 (H29)	完了 (H30)	完了 (R元)	完了 (H30)
路面標示	未了 (R元完了予定)	完了 (H29)	未了 (R元完了予定)	未了 (R元完了予定)	未了 (R元完了予定)

※弓ヶ浜ルートは、令和元年度末に全線開通予定の「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」等を活用。

## 4 今後の取組

- 令和元年度末までに、中部ルート以东の路面標示の設計・施工を完了する予定。
- とっとり横断サイクリングルート（仮称）について、サイクリストへのPRを図るとともに県民に愛着をもってもらうため、愛称募集を行う。
- 令和元年度末に全線開通予定の「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の開通記念と合わせて、とっとり横断サイクリングルート（仮称）全線開通記念イベントを実施する予定。



## 第10回中海会議の開催結果について

令和元年8月20日  
政策調整課  
水環境保全課  
農地・水保全課  
河川課

沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、中海の水に関する諸問題を協議検討する第10回中海会議が以下のとおり開催されました。

### (参考) 中海会議とは

平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」を踏まえ、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置(平成22年4月22日)した会議。  
※個別課題の検討・調整を行うため、次の4つの部会等を設置している。

- ①中海湖岸堤等整備にかかる調整会議
- ②中海の水質及び流動会議
- ③中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ
- ④中海の利活用に関するワーキンググループ

- 1 日時 令和元年8月6日(火) 午後1時30分から3時30分まで
- 2 場所 ホテル白鳥(松江市)
- 3 出席者 国土交通省中国地方整備局長、農林水産省中国四国農政局次長、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市副市長、松江市長、安来市長  
<オブザーバー> 環境省(中国四国地方環境事務所長)、防衛省(美保基地副司令)

### 4 概要

#### (1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

○部会「中海湖岸堤等整備に係る調整会議」(事務局:中国地方整備局出雲河川事務所)から、中海湖岸堤整備の進捗状況等について報告がなされるとともに、大橋川改修事業の条件として、大橋川拡幅の前段階で中海湖岸堤を先行して時系列的に整備する手順を踏まえ事業を進めることについて、改めて確認がなされた。

#### [報告の概要]

- ・鳥取県側における中海湖岸堤短期整備箇所(6箇所)のうち残る1箇所(貯木場)が今年度完成するとともに、島根県側も含め短期整備箇所が全て完了する。引き続き、短中期整備箇所の整備促進を図っていく。

※短期整備箇所の完成により、国土交通省は令和2年度からの大橋川下流狭窄部の拡幅工事着手を検討している。

#### [主な意見]

- ・大橋川下流狭窄部拡幅工事の前段階で短期整備箇所の整備を終えることになるが、改めて短中期整備箇所や中期整備箇所についても大橋川の流量が増加する可能性が生じる前に完成するよう確認するとともに、短中期整備箇所の米子港整備にからめ、米子市のかわまちづくり計画等との連携もお願いしたい。(鳥取県)
- ・境水道沿いの外江地区は、堤内地が低いうえに堤防が脆弱で浸水を危惧する声がある。新たに下水道計画の認可区域となった当地区の内水対策を進めるので、国交省においても堤防の整備をお願いしたい。(境港市)  
→下水道の計画を確認しながら調整を進めたい。(国交省出雲河川)

#### (2) 中海の水質及び流動、覆砂検討について

○部会「中海の水質及び流動会議」及び「中海・覆砂検討ワーキンググループ」(事務局:島根県環境生活部)から、水質改善状況や窪地対策に伴う水質シミュレーション検討結果等について報告がなされるとともに、今後も継続して水質改善対策を進めることについて確認がなされた。

#### [報告の概要]

- ・中海の水質は長期的には改善傾向であり、平成30年度の水質は、COD(化学的酸素要求量)は第6期水質保

全計画の水質目標値を達成した。全窒素及び全りんは未達成であった（環境基準点 12 地点のうち、全窒素は 9 地点、全りんは 10 地点で水質目標値を達成）。なお、環境基準値はいずれも未達成であった。

- ・底質や窪地が中海の水質に与える影響についてシミュレーションしたところ、米子湾では他地点と比べて窪地の影響は相対的に高いものとなり、中でも彦名沖等の窪地の影響が大きいことが分かった。
- ・窪地の埋戻し、覆砂のパターンによる水質改善効果をシミュレーションで検討したが、いずれも水質改善効果は小さく、環境基準を満たすところまでは改善しない結果となった。

#### [主な意見]

- ・水産資源について、窪地の貧酸素が生態系にどのような影響を与えているか、考えていくべき。（松江市）
- ・中海で浄化が進まないのは海流の問題があると考えている。モニタリングを継続して有効な対策を検討すべき。また、浅場造成と覆砂事業について、継続的に効果を調べながら今後の対策を検討すべき。（米子市）
- ・表層と底層とは区切りがあって相互に影響し合わないとのことだが、底層に悪いものがあれば水質全体に影響して改善に結びつかないと考えている。シミュレーションと実測を継続し、水産資源や人の五感に訴える状況をフィードバックしながら検証していくべき。（鳥取県）

### (3) 中海沿岸農地の排水不良について

- 「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」（事務局：米子市経済部）から、中海沿岸農地の排水不良の取組状況について報告がなされるとともに、引き続き、関係機関が公共残土に関する情報の共有化を図り、客土（農地嵩上げ）材としての公共残土受け入れを促進していくことについて確認がなされた。

#### [報告の概要]

- ・崎津モデルほ場（A=3.3ha）において、平成30年度はA=0.09haの客土を実施し、全体進捗が44%となった。
- ・公共残土による客土が排水不良対策に一定の効果を上げていることから、引き続き公共残土（客土材）の提供について、関係機関への協力要請を行う。

### (4) 中海の利活用について

- 「中海の利活用に関するワーキンググループ」（事務局：鳥取県令和新时代創造本部）から、中海及びその周辺の利活用の状況について報告がなされるとともに、今後、国交省との連携により、利活用促進に向けた環境整備を強化していくことについて確認がなされた。

#### [報告の概要]

- ・中海北部周遊サイクリングコースの設定（松江市）や白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース（境港市～米子市）の全線開通に加え、水陸両用機による遊覧飛行（中海北西岸に整備された「なかうみスカイポート」を拠点）など、中海の魅力を発信する新たな取組がスタートした。

#### [主な意見及び提案]

- ・サイクリングコースについて、安全性や快適性を向上のため道路改良について要望したい。（松江市）
- ・中海利活用の活性化に向け、サイクリングやクルージングなどの促進に向けた「中海利活用検討会（仮称）」を設置し、利活用に必要となる各種機能整備など共に取り組みたい。（国交省出雲河川）

## 土砂災害危険度情報の高解像度化について

令和元年 8 月 20 日  
治山砂防課

大雨による土砂災害発生危険度の高まりを示す指標として、県と気象台は『土砂災害危険度情報』を発表しており、インターネットを通じて閲覧することができますが、高齢者などパソコン等に不慣れな方でも容易に情報を入手する方法として、NHK鳥取放送局の協力により、地上デジタル放送（データ放送）でリアルタイムに情報を確認することができます。

この度、この情報を表示する判定メッシュ（領域）を高解像度化（5km×5km→1km×1km）し、より詳細な情報を閲覧することが可能となりました。

### 1 高解像度化の概要

県は、NHK データ放送を活用し、土砂災害の危険度情報を約 5km メッシュで提供していましたが、この度、高解像度化により約 1km メッシュでの情報として提供を開始しました。

これまでは、5km×5km=25 平方 km を同一の評価としていたため、実際の雨の状況と大きく異なる地域もありました。高解像度化により、地域を 1km×1km=1 平方 km 単位まで絞り込み、市町村が避難勧告や住民の避難開始の地区を絞り込む判断材料として、一層効果的に支援できるものと考えています。

(従来) 5km×5km



(現在) 1km×1km

### 2 提供開始時期

令和元年 8 月 8 日（木）午後 1 時 30 分から

### 3 土砂災害危険度情報

大雨警報（土砂災害）の危険度は、土壌雨量指数及び降雨の実況・予測に基づいた土砂災害危険度情報により、土砂災害発生危険度を表示しています。

この土砂災害発生危険度は、着色により区分されます。

土砂災害危険度情報		避難情報の目安
【極めて危険】	土砂災害発生の恐れ	土砂災害警戒情報の目安
【危険】	避難開始の目安	大雨警報（土砂災害）の目安
【警戒】	避難準備の目安	大雨注意報（土砂災害）の目安
【注意】	今後の雨量に注意	

### 【参考】NHK地上デジタル放送による『土砂災害危険度情報』の取得方法等について

- NHK総合テレビでリモコン「d」ボタンを押し、「防災・生活情報」→「土砂災害危険度情報」の順に項目選択すると、地図上に色分けされた土砂災害危険度情報が表示されます。（NHK地上デジタル放送による土砂災害危険度情報の提供）
- NHK地上デジタル放送による土砂災害危険度情報の情報取得方法については、各種防災イベント・出前講座などの機会でもらしを配布し県民への周知を図っています。また、治山砂防課ホームページにおいてもお知らせしています。
- 鳥取県土砂災害警戒情報システム (<http://d-keikai.sabo-tottori.jp/Top.aspx>) においても土砂災害危険度情報を公開しています。

# NHK地上デジタル放送による『土砂災害危険度情報』の提供



NHK鳥取放送局の地上デジタル放送（データ放送）を通じて、ご家庭のテレビで、大雨による土砂災害発生危険度をリアルタイムに確認できます。

## 土砂災害危険度情報とは

市町村単位で発表される土砂災害警戒情報(※)の内容を補足する情報として、地域の土砂災害発生危険度を着色により示したものです。

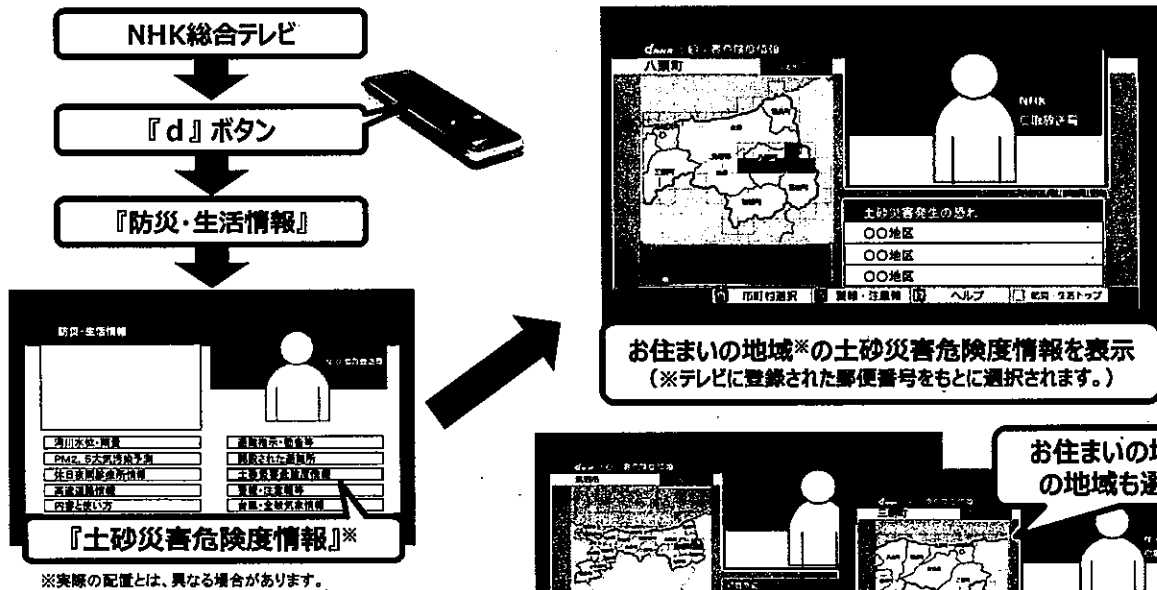
極めて危険	土砂災害発生の恐れ	土砂災害警戒情報の目安
非常に危険	避難開始の目安	大雨警戒の目安
警戒	避難準備の目安	大雨注意報の目安
注意	今後の雨量に注意	

5kmメッシュごとの情報提供 (注) 2019年8月8日から1kmメッシュ

**土砂災害警戒情報(※)** 大雨による土砂災害発生危険性が高まった時、鳥取県と鳥取地方気象台が共同発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、気象や雨量の状況に注意し、早めに避難して下さい。

## 操作方法

1. NHK総合テレビにチャンネルを合わせ、リモコンの『d』ボタン（データ放送）を押します。
2. リモコンで『防災・生活情報』を選択します。
3. リモコンで『土砂災害危険度情報』を選択します。



パソコン  
スマートフォン・携帯電話  
でも確認できます。  
『鳥取県土砂災害警戒情報システム』で **検索**

鳥取県全域の表示も可能

お住まいの地域以外の地域も選択可能

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
技術企画課 八頭県土 〔整備事務所〕	八東川災害復旧工事(30年災46号、48号、49号及び50号)	八頭郡 若様町 若様外	中一建設株式会社 代表取締役 中尾 仁	(当初契約額) 147,420,000円	平成30年11月26日 ～ 令和元年12月18日	(当初契約年月日) 平成30年11月26日	—
				(第1回変更後契約額) 149,756,040円 〔 (変更額) 2,336,040円 )		(第1回変更契約年月日) 令和元年7月30日	
技術企画課 〔西部総合事務所 日野県土整備局〕	石見川河川災害復旧工事(30年災451号)(本工事)	日野郡 日南町 下石尻	サワタ建設株式会社 代表取締役 澤田 信介	(当初契約額) 99,900,000円	平成31年1月25日 ～ 令和元年9月18日	(当初契約年月日) 平成31年1月25日	—
				(第1回変更後契約額) 91,239,480円 〔 (変更額) △8,660,520円 )		(第1回変更契約年月日) 令和元年7月29日	
道路企画課 〔西部総合事務所 日野県土整備局〕	県道上徳山俣野江府線(南向橋)耐震補強工事(3工区)(交付金橋梁補修)	日野郡 江府町 俣野	県道上徳山俣野江府線(南向橋)耐震補強工事(3工区)(交付金橋梁補修)ピーエス三菱・鹿野建設特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社ピーエス三菱 鳥取営業所 所長 水野 敦郎	(当初契約額) 166,320,000円	平成30年8月31日 ～ 平成31年3月20日	(当初契約年月日) 平成30年8月31日	—
				(第1回変更後契約額) 166,320,000円 〔 (変更額) 0円 )	(変更後工期) 令和元年7月31日	(第1回変更契約年月日) 平成31年3月20日	
				(第2回変更後契約額) 163,620,000円 〔 (変更額) △2,700,000円 )		(第2回変更契約年月日) 令和元年7月31日	当初の想定より、工事期間中の濁水水位が低くなり、水中作業の割合が減少したことによる工事費の減

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道岩美停車場河崎線 (新井工区)橋梁下部工 事(1工区)(交付金改良)	岩美郡 岩美町 新井	株式会社興洋工務店 代表取締役 亀井 勲	(当初契約額) 159,084,000円  (第1回変更後契約額) 167,316,840円 〔 (変更額) 8,232,840円 〕	平成30年8月3日 ~ 平成31年3月25日  (変更後工期) 令和元年7月31日	(当初契約年月日) 平成30年8月3日  (第1回変更契約年月日) 平成31年3月25日	-  ・工事着手後の事前ポーリングの結果、支持層の位置が当初の想定よりも深いことが判明し、鋼管杭が長くなったことによる工事費の増 ・鋼管ソイルセメント杭の杭長の変更検討及び支持地盤面の傾斜を確認するため追加のポーリング調査が必要になったことによる工期延伸
河川課 〔西部総合事務所 日野県土整備局〕	日野川霞地区河川改修 工事(井津羽堰)	日野郡 日南町 丸山	サワタ建設株式会社 代表取締役 澤田 信介	(当初契約額) 122,472,000円  (第1回変更後契約額) 125,028,360円 〔 (変更額) 2,556,360円 〕  (第2回変更後契約額) 127,388,160円 〔 (変更額) 2,359,800円 〕	平成30年8月31日 ~ 平成31年3月20日  (変更後工期) 令和元年7月31日	(当初契約年月日) 平成30年8月31日  (第1回変更契約年月日) 平成31年3月20日  (第2回変更契約年月日) 令和元年7月31日	-  台風24号により施工箇所近傍の国道護岸が崩壊したため、当該現場に合わせた片側交互通行規制が必要となり、調整に期間を要したことによる工期延伸  ・当初、残土処分場の閉鎖が原込まれたことから、発生土に置きす予定であったが、工事途中に残土処分場の搬入容量が拡大されることとなったため、発生土を残土処分場へ変更したことによる処分料の追加及び運搬距離の増加による工事費の増 ・上記による工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 175,335,840円 〔 (変更額) 8,019,000円 〕		(第2回変更契約年月日) 令和元年7月19日	鋼管ソイルセメント杭の施工にあたって、室内配合試験を定値以上検出されたため、施工材料(セメント系固化工材)を、一般用から六価クロム対応型に変更したことによる工事費の増